

文教・警察常任委員会 県内行政調査

1 調査日 平成26年7月22日（火）

2 調査の概要

(1) 大津市立雄琴小学校（大津市雄琴二丁目）

県教育委員会では、子どもに確かな学力を身につけさせるための授業改善の推進の一環として、全国学力・学習状況調査の結果を基に、付けたい力を明確にした評価問題の作成を通じて、授業改善の方法を研究し学力向上へのアプローチを図り、その成果の普及に努めることを目的とする「学力向上アプローチ事業」を実施している。

昨年度からの3年間の継続研究として、県内の小中学校のうち24校が同事業の研究指定校として指定されており、同校では、「算数科」を窓口として学力向上への取り組みを行っている。

こうしたことから、同校における学力向上アプローチ事業の取組状況等について調査を行った。



(2) 滋賀県運転免許センター（守山市木浜町）

同センターは、滋賀県警察の運転免許試験場であり、教習所卒業者に対する学科試験や教習所卒業生以外の者に対する技能試験・学科試験の実施、免許証の更新を受けるための更新時講習等各種講習をはじめとする、運転免許に関する業務全般を行っている。

一方、同センターは、昭和42年5月に大津市瀬田から当地に移転・新築され、今年で建築後47年以上経過する施設であることから、施設の老朽化や耐震性上の問題、モータリゼーションの進行に伴う来庁者の増加による施設の狭隘化や慢性的な駐車場不足といった諸課題を抱えている。

同センターは、防災上重要な施設として位置付けられていること、また、多くの県民の方々が日々利用される施設であることから、早急な対応が求められており、当局においては現地における施設の建て替え計画が検討されているところである。

こうしたことから、施設の概要や業務内容等について調査するとともに、公益財団法人滋賀県交通安全協会の方々と「県下における交通ボランティアの活動状況や課題などについて」をテーマに県民参画委員会を実施し、意見交換を行った。



(3) 県立膳所高等学校（大津市膳所二丁目）

県教育委員会では、高等学校における先進的な科学技術、理科・数学教育を通して、生徒の科学的能力および技術ならびに科学的思考力などを培い、将来国際的に活躍する科学技術系人材の育成を図るため「スーパーサイエンスハイスクール事業」を推進している。

本県では、膳所高等学校、彦根東高等学校、虎姫高等学校の3校が文部科学省から指定を受け、同事業に取り組んでおり、膳所高等学校においては、「日本の未来を支える国際的視野を持った科学技術系人材の育成」および「Shiga Science Project」の発展と評価の研究開発課題に沿った取り組みを行っている。

こうしたことから、同校におけるスーパーサイエンスハイスクール事業の取組状況等について調査を行った。

